

あいち平和行進「原爆の火」先頭に新たな共同ひろげる

5月31日から愛知県入りした平和行進は、6月11日までの12日間に、県下32コース、延べ350kmの行進に5798人が参加しました。

行進の行く先々での沿道では412,750円の募金と「いま、核兵器の廃絶を」署名が3209筆が寄せられました。

国会では有事関連法案が審議される真っ只中であり、アメリカの未臨界核実験強行の直後ということもあり、参加者の「2度と戦争は繰り返してはいけない」「アメリカの無法な世界戦略と核兵器使用政策は世界にとっての驚異。これを支持し、支援する小泉政権は断じて許せない」という思いがあふれる行進となり、数万規模の県民にその思いを届ける行進として大きく成功しました。

国民平和行進実行委員会と市民平和行進実行委員会が「あいち平和行進」として名称とスローガンを統一したとりくみは4年目となり、県下の各コースでも共同が追求され、新たに小牧、豊



明の両コースで新たな共同が実現しました。

今回の行進では、初日の豊橋市にある桜丘学園から学園内で灯されつづけている「原爆の火」を分火してもらい、これを先頭にした行進を11日間つづけました。

最低賃金 引き上げ求めハンスト決行



愛労連は6月22日、最低賃金の引き上げを求める681分のハンガーストライキを名古屋市中区の第2合同庁舎前で行いました。

愛知県の最低賃金は時間あたり681円で2年間にわたって据え置かれたままです。愛労連では今年も2月に最低賃金生活体験を多くの組合員の参加で実施しましたが、最低賃金では1ヶ月間フルタイムで働いても12万円弱、これでは生活できないことが体験から明らかになっています。引き続き愛労連では、8月の最低賃金決定に向けてとりくみを強めることにしています。

愛労連女性協が第15回定期総会を開催 女も男も一人ひとりが大切にされ、人権が守られる社会をめざして

6月19日、労働会館において、愛労連女性協第15回定期総会が開催されました。3日前には通常国会が閉会したばかりでしたが、悪法が次々と強行採決され、国民にさらなる痛みを押しつけるものでした。その怒りからか、総会への出席も多く、発言も活発に行われました。



愛高教からは養護教諭部を新たに立ち上げたこと。自治労連の平和のバスツアー。全印総連の東海共同印刷よりパート部会が11月から連絡会の準備に取り掛かっている様子。建交労は、憲法9条の鶴5千羽づくりを提案。全国一般は全国女性交流集会を愛知で開催するとりくみの報告。福保労の東海地方本部は、若い人が多く執行部も頑張っていることなど、粘り強く活動する報告がたくさんされました。

また、総会では愛教労が4月に愛労連加盟を決定し、5月の評議員会で承認されたことが報告され、参加者の大きな喜びとなりました。

しかし、社会のさまざまな分野で女性の自立が困難なままであることも事実です。男女機会均等法を改正し、表面的には男女差別にみえなくても、事実上女性を差別するコース別雇用や出産にともなう差別・不利益扱いなど、女性の独立した人格を尊重しない実態。女性労働者の過半数がパートや派遣労働に追いやられている実態も今後のたたかいの重要な部分となっています。

教育基本法の改悪をとめよう、5.30あいち大集会

教育基本法改悪の動きが強まる中、憲法と教育基本法を生かす取り組みを強めようと愛高教、名高教、愛教労、名古屋市学事労、教科書市民の会、自由法曹団愛知支部などが共同して、5月30日、ウィル愛知で大集会が開かれました。主催者の目標を大きく上回る300名が参加し、教育基本法の改悪を許さない決意に満ちた集

会となりました。講演では東大教授の小森陽一氏が「戦争をする国に仕立て上げるために『日の丸・君が代』を強制させる。そして人事評価をして教員に、公立学校教育を通して児童生徒に『国家のために戦争をすることが正しいことだ』という意識を刷り込ませようとしている。それが東京都教委の強圧的な例となった現れてきている」と話しました。参加者も「国家権力による教育の統制であり、戦前にもどりつつあるという感じがした」と感想を語ります。

教育基本法が改悪されたならいっそうこうした抑圧が横行することは目にあきらかです。教育基本法の今日的な値打ち、それを守り生かした教育を行う取り組みを学校で、父母地域住民とともに創り上げていく大切さを再認識しあい、アピールを採択して教育基本法改定案を上程させない決意を固め合いました。

『学習の友』
創刊50周年記念 **憲法改悪NO 明るい日本と職場を**

全国学習交流集会

主催 都道府県学習組織・労働者教育協会 協賛 全労連

日 時 2004年9月18日(土)13時～20日(月・祝)正午
会 場 愛知県犬山市「福祉会館」(全体会場)
参加費 2万5000円 (2泊5食+参加費 オプション企画と保育は実費)

記念講演①「憲法9条と労働者の権利をまもり、日米安保を考える」
講師：森 英樹 (名古屋大学教授)

記念講演②「学んで輝く生き方を—大衆の学習教育運動—」
講師：中田 進 (関西勤労協講師)

分科会、オプション企画など、企画が盛りだくさん
労働者教育協会 東京都文京区湯島2-4-4 TEL03-5842-5642 FAX03-5842-5645

トヨタの冷たい態度に労災申請を決意 内野さんの労災認定にむけ支援する会を結成



支援する会結成総会で
訴える内野博子さん

2002年2月9日、トヨタの工場
で作業中に倒れ、病院に運ば
れてからまもなく御主人を亡く
され、通夜や葬儀の席でも友
人・親族から「労災」という言葉
を聞かされていた内野博子さん。
亡くなったご主人が生前、
長時間の残業をしていたこと、

それに対し会社の姿勢があまり
にも遺族に冷たいことから、
労災申請をしなればと思っ
て至ったのでした。

労災申請後、豊田労働基準
監督署から、業務外認定の通
知があるまで5回の監督署交
渉を行いました。前半は、死亡
原因の真相を解明すること。時
間外労働を出勤から帰宅の時
間を手掛かりに行動記録資料
を作成したり、職場の上司、同
僚、会社の人事、組合などの
話し合いや聞き取りから時間
外労働時間を算出するといっ
た事を中心に費やしました。後
半は、死亡原因についての事
実、時間外労働が認定基準を
上回っていた事を主張し、労
災認定を強く訴えました。

最後の監督署交渉を終えて
から4ヶ月が経って「業務外認

定」の通知が来ました。あれだ
け多くの資料とともに、時間外
労働と死亡原因についても対
象疾病に入ることによって労災認定
基準をクリアできたと、良い結
果を期待していましたが、業務
外認定とは、残念と思うより悔
しさと怒りでいっぱいです。こ
れを受けて、弁護士と健康セン
ターの人が、早速、弁護団を
結成し裁判で決着をつけようと
内野さんを励ましてくれました。
その後、弁護士事務所でも話し
合いを行い、県の労働局へ審
査請求を提出しました。

現在、県労働局の労働者災
害補償保険審査官の姿勢を変
える為に署名活動に取り組ん
でいます。みなさんのご支援
をよろしくお願いいたします。

(内野さんの労災認定を支援
する会 事務局長 山下 仁)

日頃からみなさんの元
国鉄労働者1047名の解
雇撤回・JR復帰を求める
たたかいへのご支援
ご協力に心から感謝
します。

昨年12月22日、
最高裁は「JRに法的
責任なし」とする不
当判決を下しまし
た。法的にはJRが不
当労働行為責任を
負わないことが「確
定」しましたが、こ
れによって労働委員
会が確定した不当
労働行為の事実が
否定されたわけで
はありません。JRの
採用過程において組
合所属を理由に排
除(採用差別)され
たという事実が存
在し、判決でも「国
鉄(清算事業団)が
労働組合法7条のい
う『使用者』として
の責任を負う」との
判断を示しています。

報告を出し、5回目とな
る昨年6月の勧告では、採
用差別事件が「結社の自由
の原則、採用におけ
る差別待遇の点か
ら極めて重大な問
題であり、政府の責
任によってとり組ま
れるべきであること
を強調する」と述べ
たうえで、「政府と
関係当事者が可能
な限り最大多数の
労働者が受けいれら
れる公正な解決を
見出す方向で努力
を追求する」ことを
求めています。

1047名が採用
差別されてから18
年、2度目の解雇か
ら15年が経ちまし
た。

1047名の解雇
者とその家族が一
日も早く安心して
暮らせるよう、「I
LO勧告に基づき政
府の責任で早期解
決を求める」団体署名、1
00万個人署名のご協力
をお願いします。

1047名差別採用事件の解決へ緊急100万署名に協力を

建交労愛知鉄道本部 執行委員長 青木信一

スケジュール

2004年7月

- 9日(金)
全国一般丸一展装裁判
(13:30~名古屋地方裁判所601)
- 11日(日)
参議院選挙投票日
- 14日(水)
愛労連第24回幹事会
(18:00~労働会館本館第1会議室)
- 15日(木)
人勧座り込み行動
(9:00~第2合同庁舎前)
人勧昼休み決起集会
(12:15~名城東小公園)
- 16日(金)
年金改悪・増税反対ネットワーク代表者会議
(14:00~愛労連会議室)
- 18日(日)
坂下タクシー争議勝利報告集会
(17:00~レストランオークラ)
- 23日(金)
NTTリストラ裁判
(11:00~名古屋地方裁判所)
NTTリストラ裁判支援共闘会議総会
(18:30~愛知県勤労会館小ホール)
- 24日(土)
自治労連愛知県本部定期大会
(10:00~サン笠寺サンホール)
- 25日(日)
愛労連第31回定期大会
(10:00~中村区役所講堂)
- 26日(月)
地方最低賃金目安発表
- 28日(水)
全労連第21回定期大会
(11:00~30日 東京)
- 31日(土)
第13回サマーセミナー
(~8月1日 石川・国民年金保養センターのと)

- 7月31日(土)
反核・平和2004年愛知のつどい
(13:00~名古屋市公会堂第7集会室)

2004年8月

- 1日(日)
JMIU愛知地本定期大会
(10:00~労働会館本館2F会議室)
被爆59周年原爆犠牲者を偲ぶつどい
(13:00~名古屋市公会堂4階ホール)
- 2日(月)
原水爆禁止2004年世界大会・国際会議
(~4日 広島)
- 4日(水)
愛労連第1回幹事会
(18:00~労働会館本館第1会議室)
原水爆禁止2004年世界大会・広島大会
(~6日 広島)
- 5日(木)
人勧昼休み決起集会
(12:15~名城東小公園)
- 8日(日)
原水爆禁止2004年世界大会・長崎大会
(~9日 長崎)
- 11日(水)
国際交流あいち女性のつどい
(夜、名古屋市女性会館ホール)
- 13日(金)
愛労連事務局閉鎖
- 19日(木)
地労委民主化会議幹事会
(14:00~愛労連会議室)

刊全労連

2004年7月号
編集・全労連

毎月15日発行・定価300円+76円
年間購読料●6912円= (税込定価500円+送料76円) × 12回

特集 04春闘を振り返って
04春闘についての雑感
労働ジャーナリスト 中野隆宣

■5・21最賃デー
“今年こそ最低賃金引き上げを”
生活保護下回っている最賃引き上げを何としても
春闘共闘代表幹事 熊谷金道
民事再生の最低生計費は最低賃金の2.4倍だ 全労連副議長 大木 寿

■全労連第35回評議員会
■第75回中央メーデー

座談会 “たかえれば前進する” を実感できた04春闘
東京地評副議長 伊藤潤一 / 愛労連議長 見崎徳弘 / 全労連青年部書記長 田山文武 / パート・臨時労組連事務局長 八谷真智子 / 全労連事務局次長 坂内三夫 / 全労連総合労働局長 寺間誠治

編集・発行 全労連 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL03-5842-5611
お申込みは一発元元 学習の友社 TEL03-5842-5641 FAX03-5842-5645